

令和3年度 第4回長野市文化芸術振興審議会 会議録（書面開催）

期 日 令和4年3月7日（月）＜回答期限＞

回答者 審議会委員 12 名

《資料》

資料1 令和4年度 文化芸術振興事業の概要について

資料2-1 令和4年度 長野市子ども文化芸術賞 募集要項

資料2-2 長野市子ども文化芸術賞 選考要領

資料2-3 令和4年度 長野市子ども文化芸術賞 候補者一覧

資料2-4 令和4年度 長野市子ども文化芸術賞 候補者選定資料

資料2-5 長野市子ども文化芸術賞 歴代受賞者一覧

審議事項1 令和4年度 文化芸術振興事業の概要について

（委 員）

市の文化芸術事業の広い分野に於いて、長野市芸術館の事業予算はその予算規模から考えても、とても重要である。芸術館の活動指針は市の文化芸術事業の活動指針と整合性はとれているのか。例えば「子どものためのプログラム」は市の事業とは違った進め方をしているような印象を受ける。限られた予算の効果的な運用のために、文化芸術課と芸術館との間の活動指針の「すり合わせ」の様な会議は行われているか。あれば、過去の会議録の開示を希望したい。

（事務局）

長野市芸術館は、市が作成した「第二次文化芸術振興計画」及び「（仮称）長野市民文化芸術会館運営管理実施計画」に基づき、指定管理者が運営コンセプトを定めるとともに、市との協議により各年度の事業計画を策定している。したがって、ご指摘の「活動指針」は整合していると考えます。

子供向けの各事業については、それぞれの立場と役割において公演等を実施しており、芸術館では「親子のためのクラシック・コンサート」のほか、地域の公民館や学校への「訪問コンサート」、「文化芸術による子供育成総合事業」など、芸術館が持つノウハウを活かした事業を中心に展開している。

会議については、月例ミーティングのほか、事業計画や予算編成などの協議を必要に応じて実施しているが、会議録は作成していない。

（委 員）

文化芸術課所管事業予算の内、そのほとんどが長野市芸術館の運営事業に割り当てられている。（一財）長野市文化芸術振興財団への指定管理料や建物の維持管理費となって

いるが、財団の関係者の審議会への出席が必要と思うがいかがか。

(事務局)

今後、必要に応じ、(一財)長野市文化芸術振興財団の会議への参加を検討したい。

(委 員)

同時期に開催される諏訪御柱祭がコロナの感染拡大防止のため縮小されていることを踏まえれば「日本一の門前町大縁日」の事業内容も再考されるのではないか。したがって、負担金根拠については様子を見て見直しが必要と思われる。

御開帳期間中の境内の“密の濃度”は生半可なものではない。この先感染状況は予見できないが、感染の拡大を防ぐためにも、街の賑わいではなく、今回は「静かな御開帳」にすべきではないかと考える。

(事務局)

日本一の門前町大縁日事業は、市民参加による文化芸術プログラムで長野の文化と魅力を発信し、本市に来訪された皆様に温かく歓迎するとともに、市民の発表及び鑑賞の場の充実を図るもので、本市の文化芸術の振興に大きく寄与する事業であると考えている。

大縁日事業の新型コロナウイルス感染症防止対策については、保健所と相談しながら「感染防止安全計画」を策定し、感染拡大の契機とならないように、状況を的確に把握し、安全計画に沿った防止対策で実施することとしており、実施の可否は、イベント毎に、その時々感染状況等に応じて判断するのでご理解をお願いしたい。

(委 員)

長野市芸術館、松代文化ホール、東部文化ホールのホール運営について、現在はそれぞれ別々な運営手法になっているが、今後は一括して一般財団法人長野市文化芸術振興財団が指定管理者として運営を行うことはできないか。3つのホールを総括して文化芸術活動を行なえるのではないかと思うが。

(事務局)

長野市芸術館、松代文化ホール、東部文化ホールの3館については、利用者層や地域性などで、それぞれ特色をもった管理運営や事業展開をしているため、財団による一括管理については今のところ予定はなく、今後については、経営状況等を注視していきたい。

(委 員)

長野市子ども文化芸術賞について、対象とする文化芸術活動のジャンルが多岐にわたるが、ダンスパフォーマンスなどの体で表現する分野があっても良いのではないか。

(事務局)

長野子ども文化芸術賞については、文化芸術部門で優れた活動をし、今後一層の活躍が期待される子どもたちに対し、市を挙げて応援することを目的に、候補者を公募により募っている。

過去にはチアリーリングなどのダンス部門でも受賞された団体もいるので、今後も幅広い分野での子どもたちの活躍を期待するところである。

(委 員)

門前町の大縁日の街頭提灯が目立たなくて残念に思う。あの大きさであれば「大縁日」と提灯に大きく入れるなど、もう少し目立つような工夫をされても良かったのではと思う。

(事務局)

ご意見を今後に向けての参考とさせていただきたい。

(委 員)

長野市子ども文化芸術賞は毎年素晴らしい作品ばかりで感心している。大人も刺激を受けるように、これらの作品を市民に披露した方が良いと思う。

市役所1Fの市民交流スペースなど、作品展示会を開いてもよいのでは。

(事務局)

子ども文化芸術賞につきましては、例年、授賞式の開催に併せ、受賞作品の展示を行っており、昨年度は長野市文化芸術祭における授賞式に併せ、市民交流スペースで受賞作品の展示を行っている。

今後も多くの市民の皆様に、作品をご覧いただけるように、取り組みを継続していきたい。

(委 員)

各事業とも予算も十分確保されていると思う。特に善光寺、城山公園、表参道、長野駅と、御開帳に連動してタイムリーなイベントの開催は、街の活性化につながるものと思う。なお、篠ノ井、松代をはじめ、周辺地域でも何らかの事業を開催し、盛り上げていく必要があるので検討されたい。

(事務局)

善光寺御開帳に併せた周辺地域での事業としては、松代城跡のライトアップや真田宝物館、長野市立博物館での企画展、川中島古戦場と善光寺門前でコラボレーションしたスタンプラリーなどの催しが計画されている。

又、日本一の門前町大縁日の中でも地域のPR事業として市内各地の魅力を発信する事業などもあり、長野市内全体で御開帳を盛り上げる機運を高めていきたい。

(委 員)

コロナ禍の中、文化芸術の発表の場が限られてきており、ホール等が使えないことによる文化芸術発展の損失は大きく思う。これを改善し、場の提供以外による市民へのサービスはどうあったら良いか検討されたい。

(事務局)

芸術館、松代文化ホール、東部文化ホールなどの市有ホールでは、国等の対処方針や通達、基準等に基づき新型コロナウイルス感染症対策を行っており、現在、文化芸術課所管の3館においては、基準に基づく対策を遵守しながら貸館事業を継続している。

今後も市民の皆様への文化芸術活動の場や情報の提供に努めるとともに、公民館などのその他の市有施設との情報共有も図っていききたい。

(委 員)

野外彫刻の維持補修の内容はどのようなものか。

(事務局)

野外彫刻の維持補修としては、主に経年劣化等により破損した作品の修理を行っている。又、ブロンズ作品のワックス塗布等のメンテナンスも定期的に行っている。

(委 員)

「わが街ながのゆかりの作家展」の作家は、どのように選定しているのか。

(事務局)

「わが街ながのゆかりの作家展」は郷土ゆかりの作家の作品を広く市民の皆様にご覧いただくために、平成30年度から開催している。

これまでの実績としては、「水上民平展」「小山清茂展」など市が貯蔵している作品の展示、「鮎万里絵展」、「石坂宏展」など信州新町美術館の市内在住作家の企画展との相乗効果を狙ったコラボ企画などを行っている。

今後も、市民の皆様幅広く地域ゆかりの作家の作品をご覧いただけるように、事業を進めていきたい。

審議事項2 令和4年度 長野市子ども文化芸術賞受賞候補者の選定について

(非公開)